

第1章 「チョコボラ・プロジェクト」事業概要

本事業の事業体系図は、次ページに掲載している通りであり、具体的な事業を「リサーチ」「アクション」として実施した。

1 リサーチについて

(1) 概要

地域の教育力向上にむけて、地域活動に関する児童・生徒及び保護者の実態や意識を把握し、それに対する社会教育行政及び公民館等の現状と今後の取組を調査し、公民館を核とした地域の教育力強化の在り方について研究した。

(2) 事業の内容

①小学生、中学生の児童・生徒、及びその保護者を対象としたアンケート調査

平成11年度に実施した「子どもの生きる力を育む地域活動に関する調査研究」と質問の一部分を同じ内容として、児童・生徒及び保護者の地域活動に関する実態や意識の変化を探った。さらに、公民館の地域における役割についても意識調査を行った。

②県内25市町村の教育委員会事務局に対するアンケート調査

①の調査結果を提示し、市町村教育委員会の地域活動に関する現状と今後の方策について調査した。

③公民館及び公民館類似施設に対するアンケート

①の調査結果を提示し、公民館の地域活動に関する現状と今後の方策について調査した。

2 アクションについて

(1) 概要

地域の生涯学習・社会教育の核となる「公民館」の活性化と人材育成に向けて、県内3地区(三種町、北秋田市、由利本荘市)からモデル事業実施教育委員会・公民館を選定し、各公民館及び地区の課題を探り、その課題解決に向けて「チョコボラ・プロジェクト」を実施した。

(2) 事業の内容

①チョコボラ・プロジェクト協議会の設置

モデル事業実施公民館毎に「チョコボラ・プロジェクト協議会」を設置し、公民館及び地区の課題解決に向けて「チョコボラ・プロジェクト」の全体計画・運営を行った。県生涯学習センターが事務局となり、市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員、学校関係者、公民館運営委員等で構成し、年2回開催した。

②公民館の課題解決に向けた事業の実施

モデル事業実施公民館毎に事業を実施した。事業の内容は、チョコボラ・プロジェクト協議会で明らかになった各公民館毎の課題解決に向けたものとし、各「チョコボラ・プロジェクト」毎に特色を生かした手法で展開した。

◎事業名 チョコボラ・プロジェクト

～「公民館」の活性化による知の循環型社会の構築～

